



平成27年度 東京都立青山特別支援学校 学校経営報告

東京都立青山特別支援学校長 黒澤一慶

本校は、東京都特別支援教育推進計画第二次実施計画に基づき、平成26年4月に開校した小学部・中学部を設置する知的障害特別支援学校である。平成27年度は開校2年目にあたる。本校では開校後1, 2年目を学校経営の基礎構築、安定期と位置付け、「教育活動の充実」、「地域連携の推進」、「教職員の育成」を重点課題として取り組んできた。

I 今年度の主な取り組みと自己評価（★は重点目標と自己評価）

自己評価 達成：◎ ほぼ達成：○ 一部達成：△

1 児童・生徒の人権を尊重し、個々の障害の程度や状態、教育的ニーズに応じた指導内容・方法の充実

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	いじめ及び体罰や不適切な指導の根絶を目指す教育活動全体を通じた人権尊重教育の推進	教員人権研修悉皆年2回 事故ゼロ 学校いじめ対策委員会年3回 いじめアンケート年1回	◎
(2)	児童・生徒一人一人に応じた指導内容の充実	3つの教育課程の推進 全員のアセスメント終了 個別指導計画年2回評価	◎
(3)	ICT機器や視覚支援教材を活用した効果的な学習環境の整備	タブレット端末活用9事例のシート作成 ICT機器活用推進実績報告書作成	◎
(4)	★地域生活や社会生活を見据えたキャリア教育の推進	公共機関や店舗等10か所以上の地域資源の活用 進路通信年5回発行による啓発	◎
(5)	一人一人に応じた健康の維持増進や体力の向上	毎日の体育的活動の推進・評価 持久走大会全員完走	◎
(6)	外国人英語等教育補助員を活用した外国語活動の推進	ALTによる授業 中学部21回	◎
(7)	外部専門家（学校医、学校歯科医、歯科衛生士、言語聴覚士等）や保護者との連携による健康や安全に関する教育活動の推進	歯科保健指導年2回 摂食に関する助言年3回 健康相談年11回 学校保健委員会年3回	◎
(8)	★東京都教育委員会研究指定「都立特別支援学校における芸術教育推進事業」を活用した図画工作や美術の教育内容・方法の改善・充実	東京藝術大学との連携 授業支援年12回 教員研修年3回 東京都特別支援学校等総合文化祭及び東京都公立学校美術展覧会への出展	◎

2 校内事故ゼロを目指した安全で安心な教育環境及び校内体制の充実

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	実際に即した各種緊急時想定訓練や研修の推進	避難訓練月1回 学校防災教育推進委員会による 評価年2回 アレルギー対応研修年1回	◎
(2)	★非常災害時を想定した総合防災対策の推進	総合防災訓練1回 帰宅困難者支援ステーション開設訓練1回 赤坂消防署主催火災予防運動への支援1回	○
(3)	スクールバスの円滑で安全な運行の徹底	スクールバス連絡会月1回 スクールバス乗務員研修年3回 スクールバス会社との事故対応マニュアル作成	◎
(4)	都教育庁や保健所、学校医等との連携による学校感染症予防対策の推進	注意喚起のための臨時保健便り5回発行 2学年の学年閉鎖による感染拡大防止	◎
(5)	教員の上級救命講習受講の推進	全教員の77%修了 東京消防庁から応急手当奨励教育機関の認定を受ける	◎
(6)	校内事故防止強化Day設定による注意喚起	毎月17日に設定、強化 管理内5件、外1件事故届出	△
(7)	財務局及び教育庁の支援による諸設備の改善	給湯設備7系統の改善	◎

3 計画的・継続的な教職員のキャリア形成

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	研究授業及び研究協議会を活用した授業力向上	のべ47回研究授業実施	◎
(2)	授業研究・教材研究の説明を通じたプレゼンテーション能力の向上	各学年1名 夏季教材展示発表会8月 授業力向上OJT研修2回	◎
(3)	★職層に応じたOJTによる育成	若手教員育成研修3名 東京教師道場2名 公立学校10年経験者研修2名	◎
(4)	★外部専門員の活用による教員の専門性向上	授業観察やケース会年130回 専門性向上研修年2回	◎
(5)	★キャリア教育に基づく生活単元学習の研究の推進（2年目）	外部講師による指導・助言年7回 公開研究会56名参加 校内研究会14回	◎
(6)	特別支援学校教諭免許状の取得推進	取得率93%	◎

4 保護者、地域及び関係諸機関との連携の推進

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	保護者会や個別面談、授業参観等を通じた保護者との円滑な連携の推進	保護者会年4回 個別面談年3回 授業参観年3回実施 日々の連絡帳による連携	◎
(2)	宮代学園や支援機関との連携	連絡会年3回	◎

(3)	青山二丁目町会及び青山外苑町会との円滑な連携	学校便り配付による学校情報の提供 地域清掃への参加月1回	◎
(4)	港区青少年対策青山地区委員会との連携	地区委員会年2回出席、情報交換	○
(5)	★教育活動における社会的資源の活用による地域との円滑な連携	赤坂消防署、赤坂警察署、赤坂図書館、公園管理事務所、青山いきいきプラザ等の公共機関及び民間企業・店舗等との連携	◎

5 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	青山小学校、青山中学校との交流教育の充実	交流及び共同学習年2回 学芸会及び青山祭への相互出展 交流教育連絡会年2回 児童・生徒向け学校紹介リーフレット作成・配布 青山中学校学校評議委員会2回	◎
(2)	区教育委員会や小・中学校との連携による副籍制度改正への円滑な対応	直接交流14名	◎
(3)	メディアを活用した本校の教育の理解推進	学校ホームページ更新80回以上 学校紹介スライド作成	◎
(4)	★支援対象エリアへの特別支援教育コーディネーターによる支援の充実	年間相談対応130件 支援対応40校園 地域実践セミナー7月	◎

6 適正で効率的な学校経営の推進

項番	取組内容	実績	自己評価
(1)	法令等に基づく教職員の厳正なるサービスの徹底	服務事故ゼロ 服務事故防止研修・評価年4回	◎
(2)	★主幹教諭及び主任教諭を中心とした円滑な学校運営の推進	企画調整会議、主幹会議を中心とした学校運営週1回	◎
(3)	経営企画室業務の円滑な遂行と経営参画の推進	教員向け就学奨励制度研修2回実施 行政系職員の定例職員会議出席年11回 企画調整会議・主幹会議への経営企画室長の出席週1回	◎
(4)	学校運営連絡協議会や学校評価、各教育活動事後アンケートを活用した学校経営改善	学校運営連絡協議会年3回 保護者アンケート回収率92% 90%以上が肯定的評価	◎
(5)	教職員の心身の健康・安全の維持増進	産業医による健康・安全指導及び安全衛生委員会年12回内講演会3回 職員健康診断受診率100% 定時退庁日毎週水曜日 クリーンデスクデイ毎週金曜日	◎

Ⅱ 次年度以降の主な課題と対応策

- 1 人権を尊重し、個々の教育的ニーズを客観的に捉え、キャリア発達を見据えた教育の推進
 - (1) いじめ及び体罰や不適切な指導根絶を目指す人権尊重教育の推進
 - (2) アセスメントを活用した児童・生徒一人一人に応じた指導の充実
 - (3) ICT機器や視覚支援教材を活用した指導の推進（タブレット端末の活用推進）
 - (4) 健康の維持増進や体力の向上（5、6月を体力向上月間に設定）
 - (5) 読書活動の推進（港区図書ボランティアによる授業支援）
 - (6) 東京都教育委員会研究指定「都立特別支援学校における芸術教育推進事業」を活用した図画工作や美術の教育内容・方法の改善・充実

- 2 オリンピック・パラリンピック教育の推進
 - (1) 4つのテーマと4つのアクションを組み合わせた取組の推進 ※1
（種目体験、世界の国々に関する学習、オリンピック・パラリンピックに関する学習ほか）
※1 4つのテーマとは、オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境を指す
4つのアクションとは、学ぶ（知る）、観る、する（体験・交流）、支えるを指す
 - (2) 重点的に育成すべき5つの資質を伸ばすためのプロジェクトの活用 ※2
（東京ユースボランティア、スマイルプロジェクト、世界ともだちプロジェクト、夢・未来プロジェクトの活用）
※2 5つの資質とは、「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚」を指す。

- 3 校内事故ゼロの推進、安全で安心な教育環境及び体制整備の推進
 - (1) 実際に即した各種緊急時想定訓練や研修の推進
 - (2) 非常災害時を想定した総合防災対策の推進
 - (3) スクールバスの円滑で安全な運行の徹底
 - (4) 都教育庁や保健所、学校医等との連携による学校感染症予防対策の推進
 - (5) 教員の上級救命講習受講の推進
 - (6) 事故防止強化Day設定による注意喚起（毎月17日）

- 4 計画的・継続的な教職員のキャリア形成の推進
 - (1) 校内研究活動の推進
 - (2) OJTを活用した専門性の向上（研究授業、職層に応じたOJT、外部専門員の活用）
 - (3) 研究会や研修会の受講を通じた専門性の向上

- 5 保護者、地域及び関係諸機関との連携の推進
 - (1) 保護者会や個別面談、授業参観及び日々の保護者との円滑な連携の推進
 - (2) 宮代学園や支援機関との連携（連絡会年3回）
 - (3) 青山二丁目町会及び青山外苑町会との円滑な連携
 - (4) 港区青少年対策青山地区委員会との連携
 - (5) 教育活動における社会的資源の活用による地域との円滑な連携

6 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

- (1) 青山小学校、青山中学校との交流教育の充実
- (2) 区教育委員会や小・中学校との連携による副籍制度改正への円滑な対応
- (3) 支援対象エリアへの特別支援教育コーディネーターによる支援の充実

7 適正で効率的な学校経営の推進

- (1) 法令等に基づく教職員の服務厳正の徹底（服務事故防止研修の計画的な実施と評価年4回）
- (2) 主幹教諭及び主任教諭を中心とした円滑な学校運営の推進
- (3) 経営企画室業務の円滑な遂行と経営参画の推進
- (4) 学校運営連絡協議会や学校評価、各教育活動事後アンケートを活用した学校経営の改善
- (5) 教職員の心身の健康・安全の維持増進